

# Japan SDGs Innovation Challenge 2021

## 応募対象国の課題と解決の方向性

対象国	課題	解決の方向性	日本企業に期待する技術・ノウハウ
マレーシア [食のサステイナビリティ]	遠隔地から都市部に農産物を輸送する道路状況の悪さとコスト高。遠隔地のコミュニティにおける保存・冷蔵施設の欠如。	コミュニティ向けの農産物・海産物太陽熱乾燥機の開発。適切な食品保存方法の検討。(サバ州で実証を実施)	現地で調達できる材料を使った低価格の太陽熱乾燥機の開発技術。農産物・海産物の保存・包装技術。
ブルキナファソ [食のサステイナビリティ]	農業が降雨に依存しており、干ばつや洪水の影響を受けやすい。農家が降雨情報にアクセスできていない。	降雨情報を農家に提供するモバイルアプリの開発。および従来の雨量計による計測と新しい計測方法による相関係数の算出。	降雨情報を提供するモバイルアプリ開発技術。
インドネシア [防災]	地震・洪水・津波・火山噴火等自然災害が多い。脆弱な人々が災害早期警報システムを利用できていない。	災害早期警報システムの開発。災害早期警報システムとウェアラブル技術との連携。若者や一般国民向けの災害ラーニングシステムの開発。	災害早期警報システム構築技術。低価格のウェアラブル機器開発技術。災害ラーニングシステム開発技術。

上記3カ国について適当な提案がなかった場合は、以下3カ国について追加で提案を募集する可能性あり

南アフリカ [食のサステイナビリティ]	豊富な種類の海藻が生息しているにも関わらず活用できていない。不安定な食糧事情・高い失業率。	海藻養殖の立ち上げ。海藻産業のバリューチェーン構築。	海岸線におけるローテクな海藻養殖技術。海藻を原料とした商品開発・販売ノウハウ。
モーリタニア [防災]	干ばつによる砂漠化の拡大(国土の3/4)。集中豪雨による洪水など、災害による被害の拡大。	災害の発生場所・頻度・規模などに関するデータを蓄積・表示するデジタルプラットフォームの開発。	災害に関する情報を収集・開示するデジタルプラットフォーム構築技術
モザンビーク [防災]	都市部周辺の海岸浸食・土地浸食による社会インフラ・農地・民家への被害。	マルチングシートや土壌固化技術等を用いたペンバ市の海岸浸食・土地浸食の防止。	マルチングシート、グリーンバッグ、土壌固化技術、地滑り防止マット等